

開成町議会教育民生常任委員会

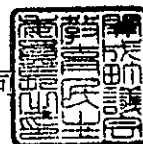
所管事務調査報告書

令和5年5月～令和6年8月

令和6年8月20日

開成町議会議長 山本 研一 様

教育民生常任委員会委員長 井上 慎司



教育民生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務につき、調査した結果を開成町議会会議規則第75条の規定により、次のとおり報告する。

1 調査の件名「開成町南部コミュニティセンター（どんぐり会館）の諸課題について」

2 調査の目的

地域活動の推進及び町民のスポーツの振興に寄与するため設置された南部コミュニティセンターは、30年以上が経過し老朽化が著しい。

施設の利用状況、管理運営等の現状を把握し、また、今後の当該施設のあり方について調査・研究を行うこととした。

3 調査の経過

	委員会開会日	出席状況	現状調査対象
第1回	令和5年5月11日	全員	
第2回	6月2日	5名(欠席1名)	
第3回	7月5日	全員	生涯学習課長・班長
第4回	8月29日	全員	開成幼稚園 園長・教頭・園務主任
第5回	10月2日	5名(欠席1名)	
第6回	12月18日	全員	
第7回	令和6年1月15日	全員	
第8回	2月24日	全員	近隣3自治会との意見交換会 (対象：牛島、宮台、みなみ)
第9回	5月15日	全員	
第10回	8月6日	全員	
第11回	8月20日	全員	

現地視察：令和5年7月5日 南部コミュニティセンター

4 調査の内容

所管課へのヒアリング

まず、南部コミュニティセンターの現状を把握するため、所管課の生涯学習課に委員会への出席を求め、現地での説明及びヒアリングを行った。

所管課の説明によれば、主な利用者である開成幼稚園から雨漏り修繕の要望が多く寄せられているが、この雨漏りに関しては原因箇所の特定ができていないとのことだった。また、利用申込方法については、申し込みの際には町民センターまで出向かなければならず、利便性の悪さはあるものの、利用申し込みは引き続き町民センターで一括管理を行っていく方針とのことである。また、南部コミュニティセンターには専用の駐車場はなく、利用者は開成幼稚園の駐車場を利用している。

周辺環境としては、敷地内にあるどんぐりの木の落ち葉が近隣住民に迷惑をかけていることが課題である。剪定を年2回設定しているが、今後落ち葉が大きな問題となる場合は伐採等も検討していくとのことである。

利用計画や修繕計画について、開成町公共施設等総合管理計画では、利用状況の変化や利用者の意向、施設の役割や機能特性、利用者ニーズを考慮し、維持複合化・統合化を検討すると記載されており、担当課としては現状の利用率の低さが課題であり、また、地域活動の推進及び町民のスポーツ振興の拠点から幼稚園の教育施設への用途変更については、今後検討していくとのことであった。

主な利用者である開成幼稚園へのヒアリング

次に、主に南部コミュニティセンターを利用している開成幼稚園から現状の課題のヒアリングを行った。主な意見等は次のとおりであり、施設の修繕や改修、あるいは建て替えの要望が上がっている。

- ・幼稚園の遊戯施設としては、暗幕がないことで演劇の幅などが狭くなる。
- ・手すりや便器の高さなど園児の体格と合っていない箇所が散見される。
- ・園舎からの動線が悪く、雨天時の園児の移動が大変である。
- ・バリアフリー化されていないため、祖父母の参観やベビーカーの利用が不便であり、トイレの多目的化も済んでいない。
- ・どんぐり会館の改修工事をする場合、園舎の中に代替えの場所がない。
- ・園としては施設が存続することを強く希望するが、現在のふれあい広場の場所にユニバーサルデザインの施設として新築してもらうのが理想的である。

施設近隣3自治会（牛島・宮台・みなみ）との意見交換会

委員間討議のなかで施設近隣にお住まいの皆さんから利用状況やご意見を伺う必要があると合意をし、南部コミュニティセンターに近い牛島・宮台・みなみの3自治会からヒアリングを行った。主な意見は次のとおりである。

- ・幼稚園開園時の平日の日中は使えないため、利便性が悪い。
- ・スポーツ振興で使われているイメージがない。
- ・南部コミュニティセンターは、災害時の正式な避難場所になっていない。災害時の備蓄等をしっかり行い、正式な避難所に指定してほしい。
- ・周辺地域としての必要性については、あるから使うが地域にとって是が非でも無いと困るという施設ではない。

なお、実態としては、開成南小学校が平成22年に開校してからは、開成南小学校の体育館が体育施設の中心になっており、周辺自治会にお住まいの方だけでなく、多くの町民は開成南小学校の体育館を利用されている。

5 検討結果のまとめ

- 現在の南部コミュニティセンターは地域活動の推進及び町民のスポーツの振興での利用実績は低く、実質的には幼稚園の施設としての色合いが強いものとなっており、開成南小学校の体育館ができて以降は南部コミュニティセンターの当初の役目は終わったのではないかと考えられる。
- 開成幼稚園以外の利用率の低さからすると、改修工事を行っても地域活動やスポーツでの利用率の大幅な向上は見込めないものと想定される。
- 町民のスポーツ振興の拠点から幼稚園の教育施設への用途変更を検討する際は、園児数の動向を見極めながら進める必要がある。
- 施設の廃止や統廃合を進める場合は、開成幼稚園の教育活動に支障をきたさないための配慮が必要である。
- 改修する場合は、バリアフリー化も含め、災害時の避難所としての機能強化の検討も必要である。
- 建て替えする場合は、高機能プレハブなど初期費用や維持費用を抑えられるものを検討すべきである。

よって、本委員会では南部コミュニティセンターの諸課題について、次のとおり提言する。

6 提言

- 南部コミュニティセンターは施設の老朽化だけでなく、施設管理に係る行政運営に様々な課題が見受けられる。所管課だけでなく、庁内横断的に対応されたい。
- 今後の利用計画や修繕計画については、施設の役割や機能特性、利用者ニーズはもとより、現在の実質的な利用状況を十分に考慮したうえで早急に検討し、方向性を決定されたい。

委員長	井上 慎司
副委員長	今西 景子
委員	吉田 敏郎 石田 史行 佐々木 昇 山下 純夫

(※議長オブザーバー出席)